

練馬区 大泉学園駅周辺地区におけるUDまちづくりの調査

大泉学園駅周辺地区 福祉のまちづくり推進に係る調査・検討業務

2011年度
東京都 練馬区 福祉部 経営課

業務概要

目的

本業務は、大泉学園駅北口周辺地区において、区民・事業者・区の協働によりハード分野とソフト分野が連携した、連続性・一体性のある「ユニバーサルデザインのまちづくり」(以下、UDまちづくり)を推進するための基礎調査である。

概要

基礎調査では、地区の実踏調査による現況把握(UDまちづくりに繋がる地域資源の発見、建物出入口のバリアフリー状況、迷惑駐輪状況の把握等)、及び地区周辺で活動している市民団体等へのヒアリングによる地域活動を把握し、今後のUDまちづくりに繋がる取組みの可能性について確認した。これらの調査を基に、地区における福祉のまちづくりの視点から見た課題の整理及び「練馬区福祉のまちづくり総合計画」に基づく計画事業(100事業)を参照して、取組みの可能性の高い事業を抽出し、具体的な提案事業の検討を行った。

検討・提案の概要

地区の状況及びまちづくりに関する主な課題

- ・ 地区には、人通りの絶えない商店街があり、杖歩行や四輪歩行器使う『高齢の買い物客』が多く見られるほか、『幼児連れの親子や地区内の保育園児たち』の姿もある。
- ・ 物販・飲食店舗、サービス・ショップ等の個店が集積する中、迷惑駐輪や商品・看板のはみ出しが見られ、『安心して歩行できる環境の整備』が望まれる。
- ・ 地区計画によるセットバック空間や未利用道路用地が点在しており、『空地を公益上有効に活用できる可能性』がある。また、店先にベンチを置く店舗やまちづくり活動に積極的な店主など『地域の独自の取組みや人材』も見られ、UDまちづくり推進の資源となると考えられる。

地区のユニバーサルデザイン推進に関する取組み提案

①安心して歩行できる環境の整備

- ◆ 放置自転車、迷惑駐輪対策(ラックの設置など)
- ◆ 商品看板等のはみ出し抑制(商店街の協力など)
- ◆ ベンチ等の設置、休憩スペースの整備
- ◆ 歩行空間の明確化(路肩のカラー舗装など)
- ◆ 案内・サインの整備(路面サインなど)

②地区内の空間資源の活用

- ◆ セットバック空間、未利用道路用地、空地の活用(休憩・駐輪スペースとしての活用など)

③沿道建築物等の施設のバリアフリー整備

- ◆ 店舗のバリアフリー整備(出入口段差解消など)
- ◆ 来街者のための休憩施設の整備
- ◆ 来街者が使える「おもてなしトイレ」の取組み推進

④店主や地元活動団体等との連携・協働

- ◆ 店舗のトイレ・イスの開放など
- ◆ まちづくり活動団体の活動支援など



迷惑駐輪



駐輪ラックの設置



多機能トイレの解放